

禅宗美術の中心、東福寺初の大規模展覧会

SPECIAL EXHIBITION
Tōfuku-ji
 MONUMENTAL ZEN TEMPLE OF KYOTO
 October 7–December 3, 2023

特別展

東福寺

すべてを、

お見せします。

2023
10.7土・12.3日

主な展示替 前期展示:10月7日(土)~11月5日(日) 後期展示:11月7日(火)~12月3日(日)
 ※会期中、一部の作品は上記以外にも展示替を行います。

京都国立博物館
 KYOTO NATIONAL MUSEUM

平成知新館
 東山七条

開館時間:午前9時~午後5時30分 ※入館は午後5時まで
 休館日:月曜日 ※ただし、10月9日(月・祝)は開館、翌10日(火)休館

主催:京都国立博物館、大本山東福寺、読売新聞社、NHK京都放送局、NHKエンタープライズ近畿

協賛:岩谷産業、きんでん、大和ハウス工業、非破壊検査
 協力:ライブアートブックス 後援:京都商工会議所

公式Twitter:@tofukuji2023 公式サイト:https://tofukuji2023.jp/

重要文化財 五百羅漢図(部分) 吉山明兆筆 京都・東福寺蔵 [通期展示(入替あり)]



《五百羅漢図》全50幅一挙公開!

水墨の技と極彩色が見事に融合した、若き明兆の代表作。聖なる羅漢を各幅10人ずつ50幅、計500人描いた大画面の巨大連作で、国内では東福寺に45幅、東京・根津美術館に2幅が現存しています。後世に模写された3幅も加え、全50幅を4期に分けて公開します。



重要文化財 五百羅漢図のうち 吉山明兆筆 南北朝時代 至徳3年(1386) 京都・東福寺蔵

◆各幅展示期間◆
 第1号~第11号幅:10月7日(土)~10月22日(日) 第12号幅:10月7日(土)~11月5日(日) 第13号~第23号幅:10月24日(火)~11月5日(日) 第24号~第34号幅:11月7日(火)~11月19日(日)
 第35号~第45号幅:11月21日(火)~12月3日(日) 第46号幅:10月7日(土)~11月5日(日) 第47号幅:11月7日(火)~12月3日(日) 第48号幅:11月7日(火)~11月19日(日)
 第49号幅:11月21日(火)~12月3日(日) 第50号幅:通期展示

東福寺

大本山東福寺公式サイト <https://tofukuji.jp/>

東福寺は鎌倉時代、摂政・関白を務めた朝廷の最高実力者、九条道家が奈良の東大寺と興福寺を合わせたような大寺院を目指して発願、円爾(聖一國師、1202~1280)を招いて開創した禅宗寺院です。創建以来、多くの名僧を輩出し、また古来「伽藍面」と称されるほど壮大な伽藍を誇ってきました。大本山東福寺とその塔頭には、大陸からの将来品をはじめとする絵画・書跡・工芸品・彫刻など禅宗文化の豊かさを物語る特色ある文物や建造物が多数伝えられており、国指定文化財の数は国宝7件、重要文化財98件、合計105件に及びます。



音声ガイド

女優の木村多江さんが東福寺巡りにご案内。解説ナレーターの子安武人さんとともに、東福寺の歴史や寺宝の見どころをわかりやすく紹介します。



会場レンタル版:650円(税込)
 アプリ配信版「聴く美術」:800円(税込)
 ※期間限定配信



お得&限定チケット情報!

観覧料(税込)	当日	前売・団体	五百羅漢図コンプリートチケット
一般	1,800円	1,600円	4期に分けて展示される《五百羅漢図》全50幅をお得に鑑賞!! 限定2,000組!! 4枚で5,000円(一般のみ)
大学生	1,200円	1,000円	
高校生	700円	500円	

※団体は20名以上。 ※中学生以下、障害者手帳等をご提示の方とその介護者1名は無料です(要証明)。 ※大学生・高校生の方は学生証をご提示ください。 ※キャンパスメンバーズ(教職員を含む)は学生証または教職員証をご提示いただくと、各種当日料金より500円引きとなります(当日南門チケット売場のみの販売)。 ※前売券と「五百羅漢図コンプリートチケット」は、2023年8月21日(月)から10月6日(金)まで期間限定販売します。 ※「五百羅漢図コンプリートチケット」は4期に分けて展示される《五百羅漢図》全50幅をお得に鑑賞できる、4枚セットのスペシャルチケット、限定販売2,000組です。1名様で4回、もしくは複数名様で4回までご利用いただけます。 ※チケットの詳細は展覧会公式サイト等をご覧ください。

[主なチケット販売場所] 公式オンラインチケット、チケットぴあ、ローソンチケット、イープラス、セブンチケットなど
 詳しくは展覧会公式サイトをご覧ください。チケット購入時に手数料がかかる場合があります。

記念講演会

第1回	10月14日(土)	中国禅の本流としての東福寺 -その歴史と文化財- 講師:石川 登志雄氏 (東福寺資料研究所長・京都産業大学教授)
第2回	10月21日(土)	「五山」東福寺と室町將軍の額字 講師:日種 真子氏 (東福寺資料研究所 主任学芸員)
第3回	10月28日(土)	東福寺画壇と明光 講師:森 道彦 (京都国立博物館研究員)
第4回	11月4日(土)	京都・東福寺と杭州径山の交流 講師:榎本 渉氏 (国際日本文化研究センター教授)
第5回	11月11日(土)	東福寺と禅宗の仏像 講師:淺湊 毅氏 (道手門学院大学教授)
第6回	11月18日(土)	墨跡にみる円爾と聖一派 講師:六人部 克典氏 (東京国立博物館研究員)
第7回	11月25日(土)	東福寺と伝法衣 -袈裟をめぐる物語- 講師:山川 暁 (京都国立博物館 研究員 企画室長兼工芸室長)

会場:平成知新館 講堂(地下1階)
 時間:午後1時30分~午後3時

※いずれも先着200名。当日午前9時より平成知新館1階インフォメーションにてお一人様1枚ずつ整理券を配布。聴講無料(本展覧会の当日観覧券が必要)。

京都国立博物館 平成知新館 東山七条
 KYOTO NATIONAL MUSEUM

〒605-0931 京都市東山区茶屋町527 TEL:075-525-2473(テレホンサービス) <https://www.kyohaku.go.jp/>
 JR・近鉄=京都駅下車、駅前市バスD2のりばから206・208号系統にて博物館三十三間堂前下車、徒歩すぐ
 京阪電車=七条駅下車、東へ徒歩7分
 阪急電車=京都河原町駅下車、京阪電車祇園四条駅から大坂方面行にて七条駅下車、東へ徒歩7分/または、京都河原町駅下車、四条河原町から市バス207号系統にて東山七条下車、徒歩3分
 市バス=博物館三十三間堂前下車、徒歩すぐ/または東山七条下車、徒歩3分
 ※ご来館はなるべく公共交通機関をご利用ください。七条通沿いの駐車場は有料となっております。



※会期等は諸事情により変更する場合があります。ご来館の際は、京都国立博物館ウェブサイトや展覧会公式サイト等で最新情報をご確認ください。

展覧会公式サイト
<https://tofukuji2023.jp/>
 展覧会公式Twitter
 @tofukuji2023



宋王朝の勅纂、
円爾が持ち帰った
東アジア随一の**大百科事典**



国宝 太平御覧 第一冊
中国・南宋時代 12~13世紀 京都・東福寺蔵 【前期展示】

円爾と聖派の禅僧たちは、中世を通じて大陸と盛んに交流しました。海を越えて東福寺にもたらされた書画や書物、工芸品などを、ご覧いただきながら、中世のダイナミックな国際交流の足跡を、紹介します。

第4章 禅宗文化と海外交流

国宝・東福寺三門に
安置されていた巨像



重要文化財 二天王立像 阿形
鎌倉時代 13世紀
京都・東福寺蔵 【通期展示】



重要文化財 白衣観音図 吉山明兆筆 室町時代 15世紀 京都・東福寺蔵 【前期展示】



重要文化財 遼磨 蝦蟇鉄拐図 吉山明兆筆 室町時代 15世紀 京都・東福寺蔵 【後期展示】



重要文化財 東福寺伽藍図 了庵桂悟賛 室町時代 永正2年(1505) 京都・東福寺蔵 【後期展示】

見る者を圧倒する巨大な観音図

第3章 伝説の絵仏師・明兆

実物は相当大きい！
明兆、円熟の筆づかい

紅葉の燃えるような美しさ、そして壮大な伽藍とその名をとどろかせる東福寺は、京都を代表する禅寺の一つです。中国に留学した高僧、円爾(聖二国師、一一〇二~一八〇)を迎えて鎌倉時代に開かれたこの寺は、中世の面影を色濃く漂わせる圧倒的スケールの建築群と、膨大な美術工芸品の数々を誇っています。本展は、我が国随一の禅宗文化の殿堂といふべき東福寺の全貌をご紹介します初めての展覧会で、大建築にふさわしい特大の仏像や調度品、長く秘められてきた書画類の優品などが一堂に会します。特に「画聖」とも崇められた絵仏師、明兆による色鮮やかな巨大連作「五百羅漢図」は修理後初公開となり、必見です。

吉山明兆(一一三二~一一四三)は東福寺の僧にして絵仏師。清貧に生きながら、巨大伽藍にふさわしい大作を数多く制作しました。室町時代を代表する画聖の一人、明兆の代表作をズラリと、ご覧いただきます。

仏手 東福寺旧本尊 鎌倉~南北朝時代 14世紀 京都・東福寺蔵 【通期展示】



フォトスポット

東福寺にはかつて、「新大仏」とも称えられる巨大な本尊がありました。惜しくも明治時代初期に焼失しましたが、一部がわずかに焼け残っています。なんと左手だけでも2メートル以上！蓮弁や光背の化仏とあわせて、その壮大なスケールをご想像ください。撮影もお楽しみいただけます。



虎 一文字 虎関師録筆 鎌倉~南北朝時代 14世紀 京都・豊源院蔵 【通期展示】

第2章 聖一派の 形成と展開

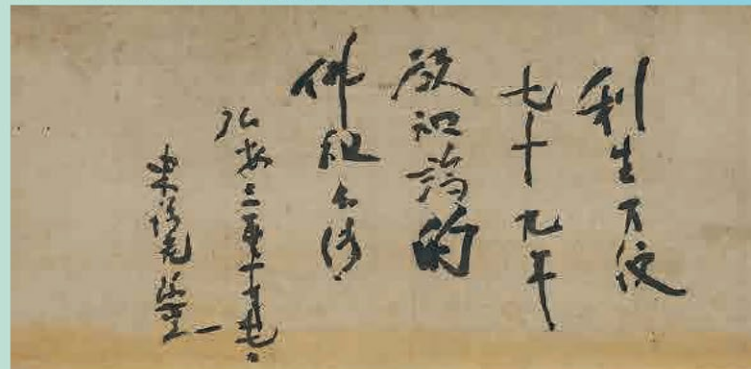
円爾の教えを受け継ぐ「聖一派」の僧たちは、中世の禅宗界で大いに活躍しました。東福寺には彼らの書や肖像画、肖像彫刻や遺愛品などが多く残り、どれも禅宗美術の傑作ぞろいです。

これは絵？書？まるで禅問答



重要文化財 二天王立像 阿形
鎌倉時代 13世紀
京都・東福寺蔵 【通期展示】

禅に生きた円爾、臨終の書



重要文化財 遺偈 円爾筆 鎌倉時代 弘安3年(1280) 京都・東福寺蔵 【後期展示】

第1章 東福寺の創建と円爾

円爾は中国にわたり、南宋禅宗界の重鎮である無準師範のもとで修行しました。肖像画や書簡など豊富な品々を通し、十三世紀の禅宗と日中交流の実情に迫ります。

まるで目前にいるような実在感、南宋肖像画の一大傑作



国宝 無準師範像 自賛 中国・南宋時代 嘉熙2年(1238) 京都・東福寺蔵 【前期展示】